

【OIE 情報】スペインにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

スペインにおける牛海綿状脳症（BSE）（非定型、H型）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、同国からの牛、めん羊及び山羊並びにこれらの動物由来の肉製品等については、現在輸入停止中です。

また、スペインが獲得している「無視できるBSEリスク」ステータスに変更はありません。

出典：OIEウェブサイト

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=31093

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告・終報）
- ・発生日：2019年7月3日
- ・OIEへの報告日：2019年7月16日

【発生状況】

- ・ガリシア州ア・コルーニャ県の農場

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	68	1	1	0	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・2019年7月5日、アルヘテの中央獣医研究所（国立レファレンス研究所）は、ガリシア州ルーゴにある動物衛生に係るレファレンス研究所において、BSE—スクレイピー抗原検査キットにより牛海綿状脳症（BSE）感染が疑われた神経組織サンプルを受けとった。
- ・国立レファレンス研究所は、EU Regulation No. 1148/2014に従って確定検査を実施した。地方（アルヘテ）のレファレンス研究所で実施されたELISAおよびウエスタンブロットにより、両方の検査で陽性の結果が得られ、陽性が確定した。その後、抗PrP抗体を用いたハイブリッドイムノブロッティングにより非定型BSE（H型）を確認した。
- ・患畜は、2001年1月30日に生まれた交雑種の牛で、TSEサーベイランスプログラムのサンプリング（48か月齢の死亡または非と殺牛）により確定

【対応】

- ・ トレーサビリティ
- ・ 畜産物の公的廃棄
- ・ 死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・ 消毒
- ・ ワクチン接種（存在すれば）
- ・ 患畜を治療対象としない

診断機関	種	検査法	検査日	結果
アルヘテ中央獣医研究所（国立研究所）	牛	ウエスタンブロット	2019年7月10日	陽性

【参考】発生地図



スペイン ガリシア州ア・コルーニャ県
2019年7月3日
牛海綿状脳症（非定型、H型）
牛1件